



新型コロナウイルス感染症に関する大人同士の会話やニュースを耳にして…

いつもとは違う生活を子どもなりに肌で感じ取っていることと思います。

ここでは子どもと新型コロナウイルス感染症について話をするときの

ポイントをお伝えしたいと思います。

子どもが新型コロナウイルス感染症について話し始めたら…？

まずは否定せずに聞いてみましょう。大人からみると「そんなことを心配していたの？」

と思うこともあるかもしれませんが、“心配になるのは当たり前なこと”と認めたくえて

話を聞けると良いですね。そして、「そんな風に思っていたんだね」と子どもの気持ちを

理解していることを伝えましょう。

子どもは事実とは違うとらえ方をしていることがあります

子どもは言葉にしなくても、大人からの情報をつなぎ合わせて、

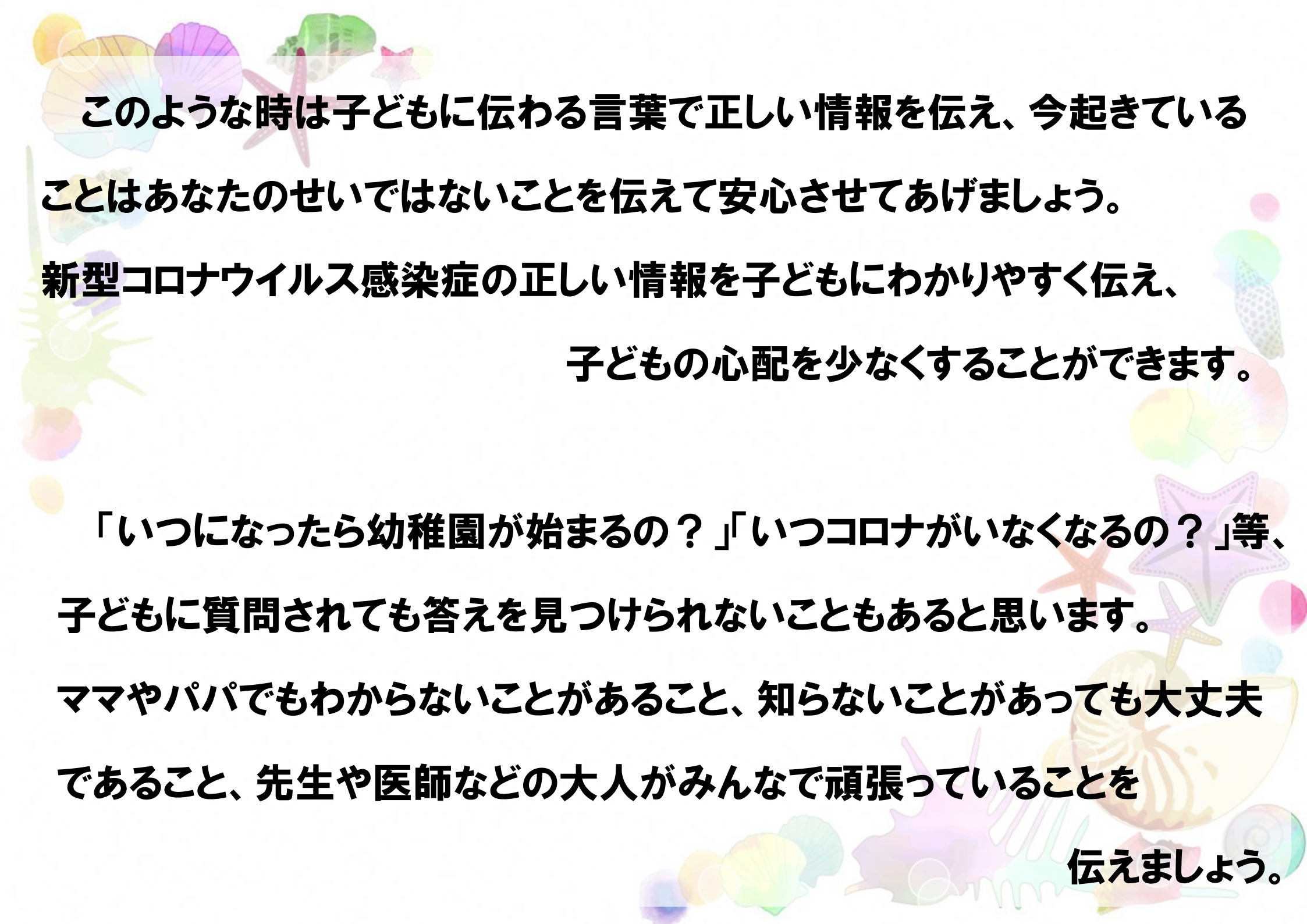
正しくない解釈をしていることがあります。

例:「コロナウイルスにかかったらみんな死んでしまうんだ」

特に 3～6 歳までの子どもは、周りで起こった出来事を自分と関連付けて考える発達
の時期でもあり、思いもよらない心配を抱えていることがあります。

例:「幼稚園に行けなくなったのは、おりこうにしていなかったぼくのせい？」

「ママやパパが心配そうにしているのは私のせい？」



このような時は子どもに伝わる言葉で正しい情報を伝え、今起きていることはあなたのせいではないことを伝えて安心させてあげましょう。

**新型コロナウイルス感染症の正しい情報を子どもにわかりやすく伝え、
子どもの心配を少なくすることができます。**

**「いつになったら幼稚園が始まるの？」「いつコロナがいなくなるの？」等、子どもに質問されても答えを見つけられないこともあると思います。ママやパパでもわからないことがあること、知らないことがあっても大丈夫であること、先生や医師などの大人がみんな頑張っていることを
伝えましょう。**



子どもにも出来ることがあることを伝えましょう

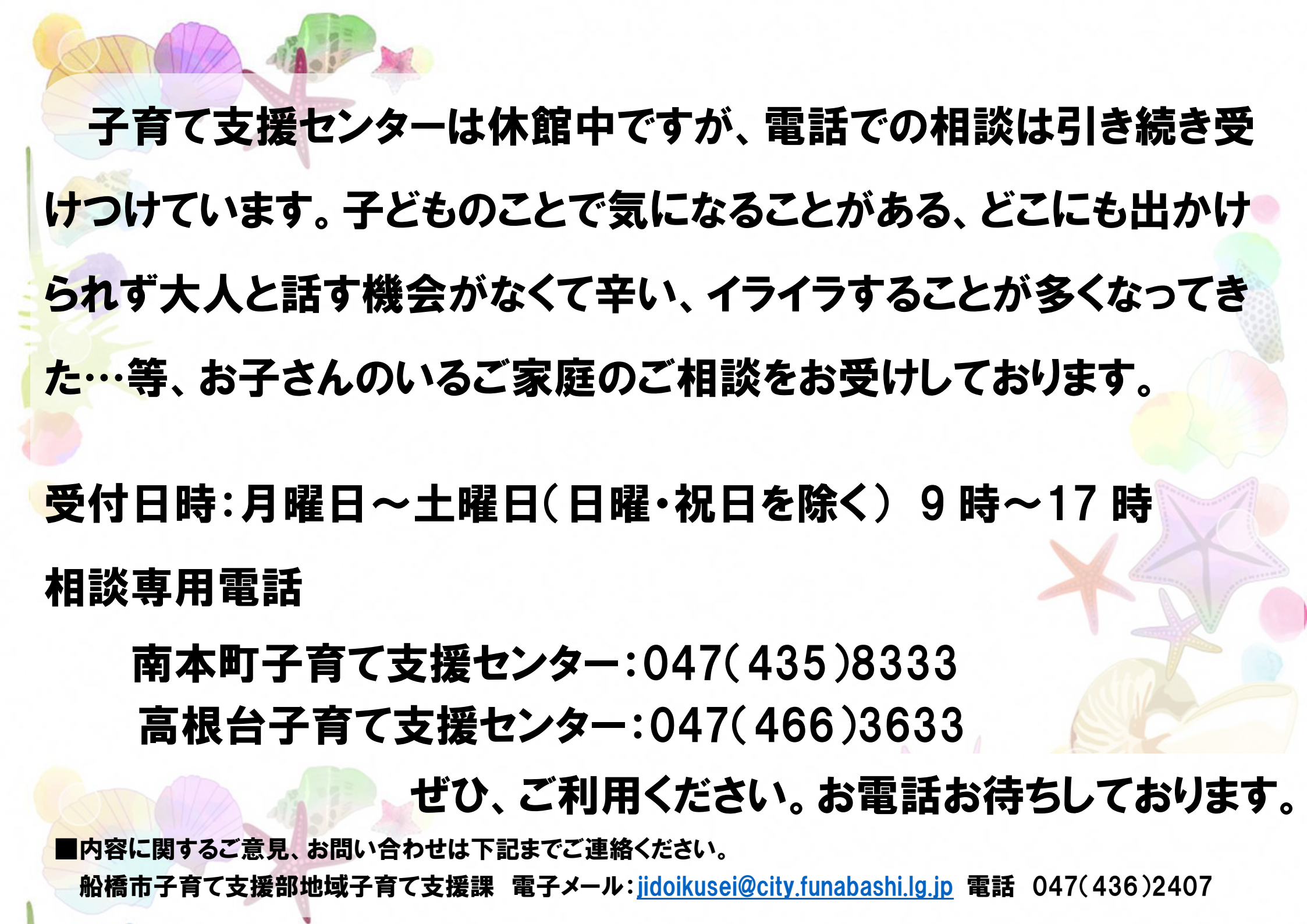
子どもたちにも、こまめな手洗いや外出時のマスクなど、

新型コロナウイルス感染症に対して出来ることがあることを伝え、

協力してくれるようお願いをしましょう。

自分や家族を守るために、出来ることがあるということは

子どもにとって嬉しいことです。



子育て支援センターは休館中ですが、電話での相談は引き続き受けつけています。子どものことで気になることがある、どこにも出かけられず大人と話す機会がなくて辛い、イライラすることが多くなってきた…等、お子さんのいるご家庭のご相談をお受けしております。

受付日時：月曜日～土曜日（日曜・祝日を除く） 9時～17時

相談専用電話

南本町子育て支援センター：047(435)8333

高根台子育て支援センター：047(466)3633

ぜひ、ご利用ください。お電話お待ちしております。

■内容に関するご意見、お問い合わせは下記までご連絡ください。

船橋市子育て支援部地域子育て支援課 電子メール：jidoikusei@city.funabashi.lg.jp 電話 047(436)2407